

# なぜ今、在宅医療か

～考えてみませんか、これからのこと～

平成30年度吹田市地域医療推進市民講演会

平成30年(2018年)7月14日(土)

吹田市健康医療部地域医療推進室

# 本日のテーマ

## 1 なぜ今、在宅医療か

(1) 吹田市の将来推計から

(2) 市民の思い・希望から

## 2 考えてみませんか、これからのこと

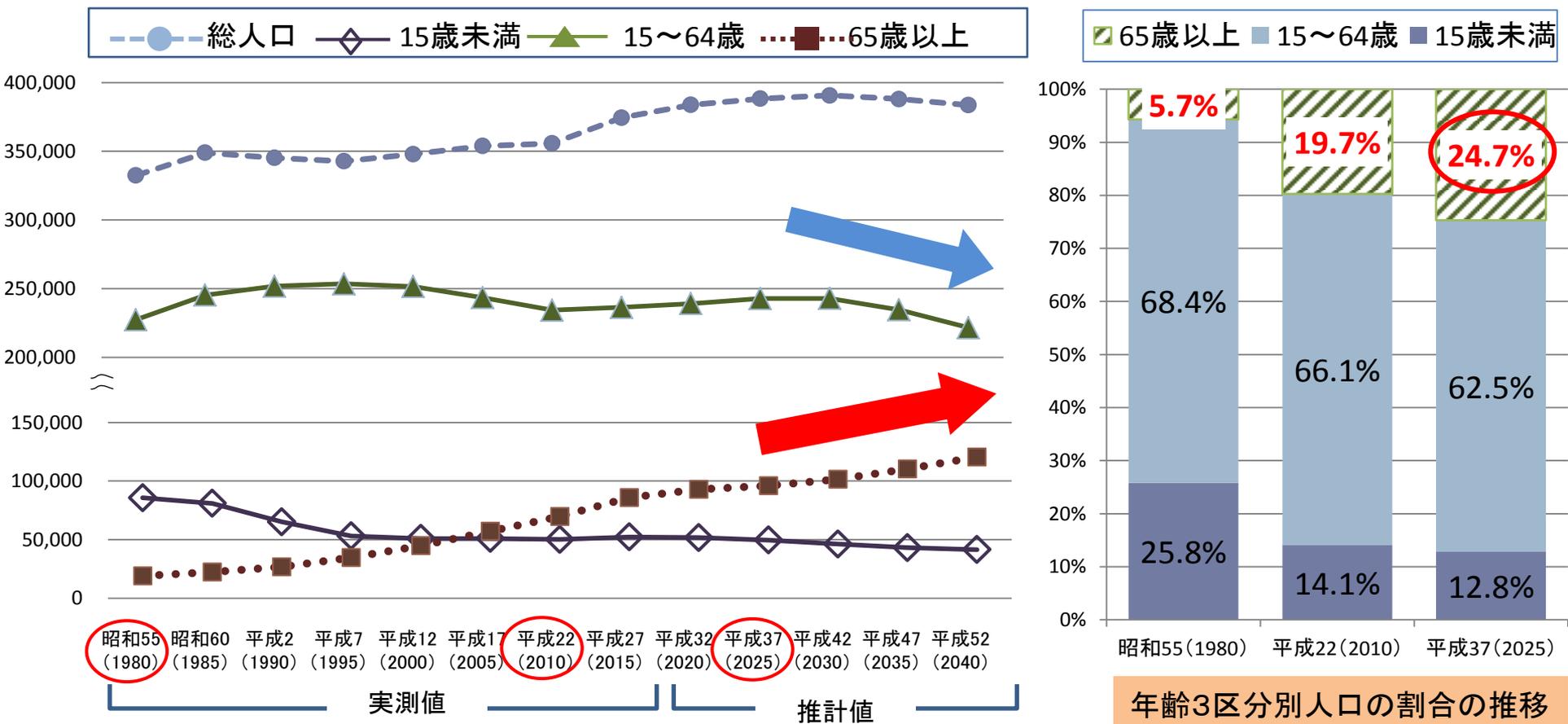
# 1 なぜ今、在宅医療か

## (1) 吹田市の将来推計から

# 吹田市の人口と高齢化率は？

- 当面、人口増加が続き、2030年をピークに減少が始まると見込まれている。
- 2000年以降、本市の生産年齢人口(15～64歳)は減少しはじめている。

○ **2025年には老年人口(65歳以上)が約25%を占めることになる。**

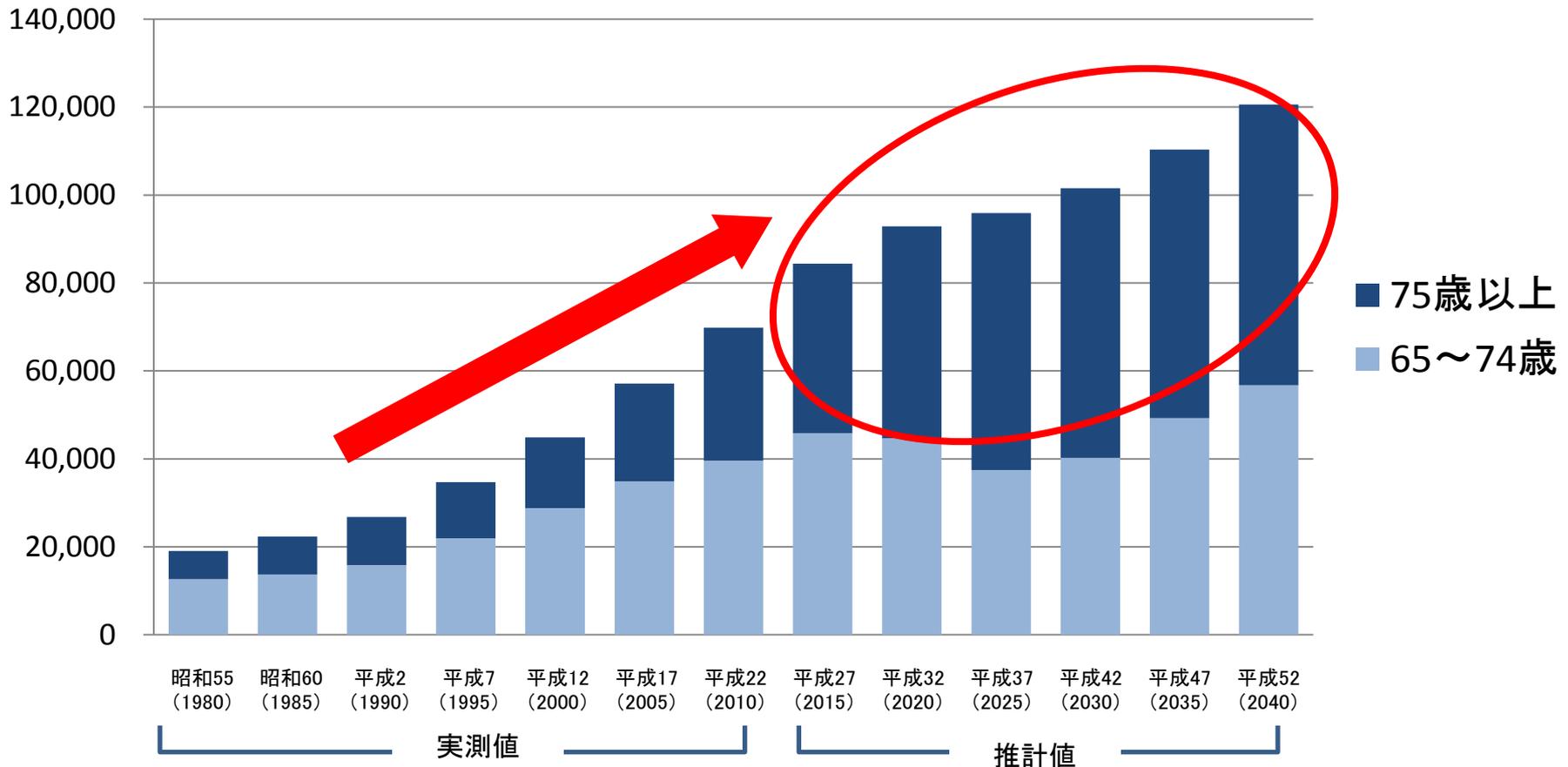


年令3区分別人口の推移

推計値は、吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計について(案) (平成30年1月25日時点)より

# 特に増えていくのは？

○ 65歳以上人口のうち、**特に、医療・介護の必要度が増す75歳以上人口が増加していくと見込**まれている。



65歳以上人口の推移

推計値は、吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計について（案）  
（平成30年1月25日時点）より

# 高齢者が増えるということは？

## 高齢者の病気の特徴

- 慢性疾患が多い
  - 複数の疾病を抱えることが多い
  - 個人差が大きい
- など

- 
- 医療・介護ニーズの増加、多様化
  - 通院が困難な方も増える



**在宅医療の需要が増加する**

# 吹田市の在宅医療等の需要は？

○2025年に**在宅医療は1.7倍必要**になる

## 【訪問診療の需要見込み】

平成25年 (2013年)	平成37年 (2025年)
2,685 人/日	<b>4,642</b> 人/日

**1.7倍**

第7次大阪府医療計画における  
吹田市の訪問診療の医療需要より

# 1 なぜ今、在宅医療か

## (2)市民の思い・希望から

Q. あなたが長期の治療・療養が必要となった場合、  
自宅での療養を希望しますか。  
また、それは可能だと思いますか。

※医療に関する市民アンケート調査(H28年度実施)

1. 自宅での療養を希望し、その実現は可能である。
2. 自宅での療養を希望するが、その実現は難しい。
3. 自宅での療養を希望しない。
4. 現在、自宅で療養をしている。

- 自宅療養を希望する※と回答した方は、約65%
- 自宅療養の実現は難しいと回答した方は、約半数

※「自宅療養を希望し、実現可能」と「自宅療養を希望するが、実現は難しい」との合算

自宅療養を希望しない  
30.4%

自宅療養を希望し、  
実現可能である  
16.1%

自宅療養を希望する  
が、実現は難しい  
48.2%

自宅療養を  
希望する※  
約65%

(N=1,842)

Q. 自宅での療養が難しい、あるいは自宅での療養を希望しない理由について教えてください。(複数回答)

※医療に関する市民アンケート調査(H28年度実施)

- 家族がいるが、負担をかけたくない(67.7%)
  - 経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きい(43.3%)
  - 療養のための環境が整っていない(39.0%)
  - 自宅での療養について、情報が少なく、想像できない(33.8%)
- など

(N=1,448)

2 考えてみませんか、これからのこと

今日の講演会での話を踏まえて、

長期療養が必要となった場合でも、  
「在宅」で過ごすという選択肢がある

自分や家族が長期療養が必要になった時

**『どう過ごしたいのか』**

ということについて、

元気なうちから考えてみませんか。



あなたは将来  
どう過ごしたいですか